平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名　神鋼商事株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　8075　URL　http://www.shinsho.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 村瀬　敬一
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長　(氏名) 阿野　健二郎　TEL 03-3276-2036

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	205,675	△7.9	1,009	△38.4	1,049	△31.4	3	△99.4
24年3月期第1四半期	223,354	7.6	1,636	△15.0	1,529	△7.5	673	△40.0

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　139百万円　(△86.6%)　24年3月期第1四半期　1,043百万円　(14.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.04	―
24年3月期第1四半期	7.60	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	221,121	28,182	12.0
24年3月期	231,406	28,531	11.5

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　26,463百万円　24年3月期　26,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	3.00	―	3.00	6.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		3.00	―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成25年3月期末の配当金額は、今後業績動向を見極めつつ検討することとしており、現時点では未定であります。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	410,000	△8.3	3,300	1.9	2,600	△6.5	900	△43.8	10.16
通期	840,000	△4.0	7,600	15.9	6,200	4.8	2,900	△1.3	32.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	88,605,625 株	24年3月期	88,605,625 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	54,050 株	24年3月期	53,801 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	88,551,787 株	24年3月期1Q	88,553,030 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・ 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 ・・・・・・・・・・・・ 3
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　・・・・ 3
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　・・・・ 3
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・ 3
３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書　・・・ 6
(3)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・ 8
(4)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・ 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などから緩やかに持ち直しつつありますが、長期化する円高、欧州財政危機、高い経済成長率を維持してきたアジア諸国の景気減速等により、景気は依然として予断を許さない状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、主要需要家である自動車業界がエコカー減税・補助金の効果により好調に推移した結果、自動車向けの取扱いが増加しましたが、海外景気の減速によりアジア向けの取扱いが減少するなど厳しい状況で推移しました。

この結果、第１四半期連結累計期間における売上高は205,675百万円（前年同四半期比7.9％減）、営業利益は1,009百万円（同38.4％減）、経常利益は1,049百万円（同31.4％減）となりましたが、四半期純利益は過年度法人税等を607百万円計上したことから3百万円（同99.4％減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①鉄鋼セグメント

線材製品は自動車生産が好調に推移したことにより取扱量が増加しました。また、チタン・ステンレス製品も海外のプラント案件等が堅調であったことから取扱量が増加しました。一方、鋼板製品は新興国の景気減速懸念や長期化する円高により国内外ともに取扱量が大幅に減少しました。

この結果、売上高は64,257百万円（前年同四半期比1.5％減）、セグメント利益は644百万円（同20.0％減）となりました。

②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は価格の下落に加え、粗鋼生産の減少により取扱量が減少しました。冷鉄源は市況の影響を受け価格は下落しましたが取扱量は増加しました。一方、合金鉄およびチタン原料は価格が上昇したものの取扱量が減少しました。

この結果、売上高は83,617百万円（前年同四半期比9.2％減）、セグメント利益は252百万円（同10.7％増）となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は自動車向け端子コネクター用銅板条の取扱量は増加しましたが、半導体向けリードフレームの取扱量が需要不振により減少しました。アルミ製品は自動車向けの取扱量は増加しましたが、印刷版、ハードディスク向けアルミ板条の取扱量が減少したことに加え、アルミ加工品の取扱量が減少しました。また、非鉄原料のスクラップの取扱量は横ばいでしたが、銅・アルミ地金の価格下落等の影響を受けました。

この結果、売上高は44,216百万円（前年同四半期比17.1％減）、セグメント利益は8百万円（同97.6％減）となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品は中国向けアルミ関連機械の納入や電池用材料の増加等により取扱いが増加しましたが、情報関連商品は液晶用電子材料やハードディスク関連機材等の取扱いが減少しました。

この結果、売上高は14,052百万円（前年同四半期比29.3％増）、セグメント損失は56百万円（前年同期は62百万円の損失）となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料は造船業界および化工機業界向けの取扱量は減少し、また、海外プラント向けの輸出も取扱量が減少しました。溶接関連機器は国内外の建設機械メーカー向けの取扱いは増加しましたが、国内造船業界向けの取扱いが減少しました。また、生産材料の取扱量も減少しました。

この結果、売上高は10,217百万円（前年同四半期比24.1％減）、セグメント利益は186百万円（同16.2％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は221,121百万円となり前連結会計年度末比10,285百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金と前払金の減少によるものです。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債合計は192,939百万円となり、前連結会計年度末比9,935百万円減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金と流動負債その他に含まれる預り金の減少によるものです。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は28,182百万円となり、前連結会計年度末比349百万円の減少となりました。これは主に配当金の支払いにより株主資本が減少したことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成24年４月27日付けの「平成24年３月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました平成25年３月期の第２四半期および期末の連結業績予想と個別業績予想をそれぞれ修正しております。

なお、詳細につきましては、本日別途公表しました「平成25年３月期の業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等並びに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。但し、一部の関係会社においては、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
（資産の部）		
流動資産		
現金及び預金	17,476	7,695
受取手形及び売掛金	148,751	150,297
商品及び製品	24,015	24,728
仕掛品	473	381
原材料及び貯蔵品	303	468
前払金	9,827	7,345
繰延税金資産	705	529
その他	2,377	2,342
貸倒引当金	△287	△259
流動資産合計	203,642	193,529
固定資産		
有形固定資産	4,258	4,357
無形固定資産	1,451	1,381
投資その他の資産		
その他	22,296	22,094
貸倒引当金	△242	△241
投資その他の資産合計	22,054	21,853
固定資産合計	27,764	27,592
資産合計	231,406	221,121
（負債の部）		
流動負債		
支払手形及び買掛金	130,659	125,674
短期借入金	30,225	30,412
未払法人税等	997	277
賞与引当金	779	461
その他	21,145	17,557
流動負債合計	183,807	174,383
固定負債		
長期借入金	17,039	16,649
退職給付引当金	612	619
役員退職慰労引当金	30	31
その他	1,385	1,255
固定負債合計	19,066	18,555
負債合計	202,874	192,939
（純資産の部）		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	21,415	21,156
自己株式	△17	△17
株主資本合計	29,752	29,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	264	△316
繰延ヘッジ損益	△11	63

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
為替換算調整勘定	△3,377	△2,776
その他の包括利益累計額合計	△3,124	△3,029
少数株主持分	1,904	1,718
純資産合計	28,531	28,182
負債純資産合計	231,406	221,121

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	223,354	205,675
売上原価	217,998	200,409
売上総利益	5,356	5,266
販売費及び一般管理費	3,719	4,257
営業利益	1,636	1,009
営業外収益		
受取利息	7	13
受取配当金	149	209
持分法による投資利益	102	58
デリバティブ評価益	131	288
雑収入	157	90
営業外収益合計	548	661
営業外費用		
支払利息	172	157
売掛債権譲渡損	235	192
為替差損	148	190
雑損失	100	82
営業外費用合計	655	621
経常利益	1,529	1,049
特別利益		
その他	－	5
投資有価証券売却益	2	－
特別利益合計	2	5
特別損失		
投資有価証券評価損	481	2
会員権評価損	－	5
特別損失合計	481	8
税金等調整前四半期純利益	1,050	1,046
法人税、住民税及び事業税	115	274
過年度法人税等	－	607
法人税等調整額	243	169
法人税等合計	358	1,050
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	691	△4
少数株主利益又は少数株主損失（△）	18	△8
四半期純利益	673	3

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	691	△4
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	△596
繰延ヘッジ損益	51	75
為替換算調整勘定	185	581
持分法適用会社に対する持分相当額	27	83
その他の包括利益合計	352	144
四半期包括利益	1,043	139
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,008	99
少数株主に係る四半期包括利益	35	40

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	65,207	92,099	53,313	10,868	13,455	234,945	99	△11,690	223,354
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－	－
計	65,207	92,099	53,313	10,868	13,455	234,945	99	△11,690	223,354
セグメント利益又は損失（△）	806	228	348	△62	221	1,543	16	△30	1,529

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	1,543
「その他」の区分の利益	16
その他の調整額	△30
四半期連結損益計算書の経常利益	1,529

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	64,257	83,617	44,215	14,052	10,217	216,361	94	△10,780	205,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	0	－	－	0	－	△0	－
計	64,257	83,617	44,216	14,052	10,217	216,361	94	△10,780	205,675
セグメント利益又は損失（△）	644	252	8	△56	186	1,035	12	1	1,049

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	1,035
「その他」の区分の利益	12
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の経常利益	1,049

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。